

同怪我

拾人

右之通ニ候

一永代橋損落候節水死いたし引取人江引渡候物の并引受歸り候後相果候者姓名、

松平薩摩守中間 余八卯三十五才以下人名略

右人數高百三十人

町内江引取候後相果候者

靈岸島鹽町又右衛店佐七娘

いく卯六才

かう卯三才以下人名略

右人數高拾四人

右之人數は町方檢使を請候分也、十九日夜八時迄は檢使なくして、番付に引取候者にわたし候よし、夜に入りて盜賊共偽名を以て引取、衣類を奪ひ候様なる風説有之、無據檢使にて姓名を改候由、依之人數之風説まちくにして一同ならず、傳聞の儘記す所左の如し、

一十九日夕、永代橋際にて死骸に札付候番付をみしに、百九十四と有之、

一一説に

存命 三百四十人 溺死 四百四拾人

助船 百四拾四艘 助人數 七百四十五人

右町奉行より御老中江御届之寫と有之、未詳、

一一説根岸家ニ而寫せしと云書付 是異説也

永代橋水死人 七百三拾二人

内

武士 八十六人

町人 四百二十四人